

令和6年度 第1回市川市公民館運営審議会

次 第

日時及び会場：8月8日（木）13：30～
生涯学習センター3階第2研修室

1. 開 会

2. 挨拶・新委員自己紹介

3. 議題

（1）令和5年度公民館事業について（報告）

（2）令和7年度市川市公民館主催講座・連携事業等運営方針（案）について
（議案）

4. その他

5. 閉 会

令和5年度公民館事業報告

No.	事務事業	事業概要
1	公民館維持管理事業	市民の身近な生涯学習施設として供するため、公民館施設の性能維持と安全性確保・適切な保全を行うもの。 事業費の内訳として、公民館施設の維持管理に必要となる消耗品費や補修用材料費、光熱水費、冬季暖房用や草刈機用の燃料費、東部公民館用地の賃借料、また、建物清掃業務や空調設備保守点検業務などの施設の維持管理業務委託料など。
2	公民館運営事業	社会教育法に基づく教育施設として市内公民館施設(15箇所)を良好な環境のもと、市民に提供するための管理運営経費のうち、公民館職員の会議や研修等の出張旅費、及び運営事業に係る備品の購入により、運営や利用に係る環境を整えるもの。 ○公民館運営審議会 ・第1回：7月12日(水)13：30～ 生涯学習センター3階 第2研修室 議題：公民館運営審議会役員の選出について 令和6年度市川市公民館主催講座・連携事業等運営方針案について 報告：令和4年度公民館事業報告について 令和5年度前期主催講座・連携事業等の実施状況について ・第2回：令和6年2月7日(水)14：00～ 生涯学習センター3階 第2研修室 議題：公民館の現状と課題について 報告：令和5年度公民館事業報告について 令和5年度各公民館の講座・連携事業等の状況報告について ○公民館運営に係る職員雇用 ・管理運用マネージャー（会計年度任用） 8名（4公民館 各2名） ・公民館職員 日勤（会計年度任用） 98名 ・公民館職員 夜勤（会計年度任用） 30名 ○文化祭 サークル協議会及び文化祭実行委員会などの利用団体側と公民館職員との協働作業による行事であり、組織の体系や協力体制が準備の進め方に大きく影響することから、公民館ごとに文化祭の内容や規模は異なる。展示や演技の形で参加が難しい団体も、スタッフとして参加できる模擬店やバザーを実施した。今後、模擬店やバザー目当ての来館者を、いかにして主たる目的の学習成果披露の場に誘導するか、また、高齢化、コロナ禍によるブランクなど、弱体化が見受けられる利用団体組織の活性化などの課題はある。 ただ、児童生徒の作品展やステージ演奏など、近隣の学校からの理解と協力が得られ、子育て世代の来館に繋がったことは成果のひとつであり、運営や参加に関わった人たちが楽しさや充実感を得られたことを第一に、創意工夫や無理のない規模で実施できたことは、地域コミュニティの再構築の一助となるものである。 令和5年度は、菅野公民館の夏季作品展を含め、4年ぶりに全公民館で文化祭を再開することができた。来館者は全体で16,991人、参加団体は353団体となった。

No.	事務事業	事業概要
3	公民館主催 講座活動事業	地域住民に多様な学習機会を提供し、生涯学習を促すとともに、住民の交流を生み出し、公民館が地域の学習拠点として機能することを目的とし、令和5年度は、「学校・地域との連携」を全館共通のテーマとし、地域における課題や市民のニーズを把握し、公民館の立地・環境・施設の特徴等を活かした各種講座の実施に取り組むもの。市内在住・在勤・在学者への学習機会の提供として公民館で開催する各種講座とオンライン配信等による講座の計画実施、及び受講者募集の周知広報に係る業務を行う。 令和5年度は、対面による講座の開催に重きを置いたことに伴い、オンライン講座については令和4年度より減少する結果となった。 ○公民館主催講座 ・対面講座【前期】講座数：105講座、回数：234回、延受講者数：3,188人 例：親子の英語教室（幸公民館）・親子年代の利用拡大 【後期】講座数：103講座、回数：214回、延受講者数：3,268人 例：災害に備える（地震編・建物編）（南行徳公民館） 防災についての知識を家庭及び地域で学ぶ。 ・オンライン講座 市公式YouTubeチャンネル（新規公開）1講座 2本 例：いきいき健康づくりⅡ「快適な睡眠をとるために」（幸公民館） ・講師謝礼金 3,913千円 ○公民館講座情報紙（ミーティアムガイド）の発行 年2回配布 令和5年9月 令和5年度後期主催講座受講者募集案内 令和6年3月 令和6年度前期主催講座受講者募集案内
4	公民館営繕 事業	利用者が安心・安全に公民館を利用できるよう必要な工事修繕等を行うもの。 ○計画修繕料 公民館利用者が安全で衛生的な環境のもと、社会教育活動等が行えるよう、年次計画を基に計画的な補修又は交換を行って公民館建物躯体、設備（空調、水道及び電気等）を整備し、公民館の延命化を図るもの。 ・主な計画修繕 「信篤公民館非常階段修繕」 全体的に錆がひどく、上階段部の手摺に孔や破断などが見られたため修繕を行い、利用者及び職員の安全の確保を図ったもの。 「曾谷公民館第1階集会室等内装修繕」 館からの要望により、第1階集会室の床部について、経年劣化した既存畳を撤去し、たたみタイルに貼り替えるとともに、同様に壁部クロスの貼り替えを行ったことにより、施工前の薄暗い印象から明るく開放的な集会室へ環境の改善を図ったもの。 ○改修工事費 施設の安全性・快適性・長期保全の視点から計画的に建物及び設備等の改修工事を行うもの。 「市川市幸公民館エレベータ改修工事」 完成金額：30,294千円 契約日：7月13日、着工日：7月14日、検査日：令和6年3月22日 請負業者：三精テクノロジーズ株式会社 東京支店 「市川市行徳公民館冷暖房機等改修工事」 完成金額：46,211千円 契約日：9月4日、着工日：9月5日、検査日：令和6年1月29日 請負業者：大川設備工業株式会社 「市川市行徳公民館冷暖房機等改修電気設備工事」 完成金額：11,495千円 契約日：9月4日、着工日：9月5日、検査日：令和6年1月29日 請負業者：株式会社 電洋社

令和6年度公民館主催講座等運営の実施状況

1. 公民館主催講座

(1) 前期の取り組み状況

公民館名		全館共通のテーマ 『学校・地域との連携』	前期講座の取組				
			講座数 (計画数)	取組傾向			
		公民館ごとのテーマ		土・日	子ども	学校連携	地域連携
1	鬼 高	自ら学ぶ環境の提供と地域とのつながりを意識する	8				○
2	信 篤	日常生活で喜びを感受できる心と体の健康づくりに繋げる講座の実施	6	○	○		
3	東 部	潤いのある生活の実現と、健全な身体を育む生涯学習の場の提供	9	○	○		○
4	柏 井	「夢(生きがい)・感動(発見)・絆(交流)」ができる公民館を目指す。	8	○	○	○	○
5	大 野	幅広い世代の学びと健康を支援する	9	○	○		○
6	若 宮	健康・福祉・環境をテーマにした学びの場の実現	6	○	○	○	○
7	市 川	新たな趣味の発見や地域の人との交流を深めるための支援	10	○			○
8	西 部	市民の生涯学習（自分らしく輝くための学び）につながるよう、様々な角度から学習機会を提供する	6	○	○		○
9	市川駅南	先を見据えた健康づくりと地域連携により公民館利用者の拡大を図る	8				○
10	曾 谷	講座を通して新たな学びの発見	7	○			○
11	行 徳	さまざまな多様性を尊重し、心身ともに健康な生活に導く講座	13	○	○		○
12	本行徳	地域の特色(歴史や文化等)を活かし、学校との連携、市民のニーズに合った主催講座の開催	8	○	○	○	○
13	幸	「学びたい、実践したい気持ちを大切にしたい」講座の実現をめざして	5	○	○	○	○
14	南行徳	学校・地域との連携を深め、多様な取り組みを目指す。	9	○	○		○
15	菅 野	教養を深め、人生をいきいき送る主催講座	6	○			○
前期講座 計（講座数）			118	47	11	11	34
（ 人数 ）			1, 881				

・学習内容の内訳

教養の向上	体育・レクリエーション	家庭教育 家庭生活	職業知識 社会連帯意識	地域交流 イベント	合計
59 講座	26 講座	19 講座	13 講座	1 講座	118 講座

(2) 後期の予定

・ミーティアムガイド

発行 10月 4日(金)

新聞折込 10月 5日(土)

・申込

始 10月 5日(土)

締切 (郵便) 10月16日(水) ※消印有効

(WEB) 10月18日(金)

2. 社会教育課 講座事業

(1) IT推進講座

コミュニケーションツールとしてのスマートフォンを上手に活用することにより、新しい知識や必要な情報の吸収を促進し、シニアの方々の充実した生活の向上を目指す。また、スマホの楽しく便利な機能を体験するとともに、災害情報の取得方法など日常生活に密着した情報収集方法を学ぶ講座。

スマートフォンを所持している60歳以上の初心者を対象とし、通信事業者(2社)又は市民活動団体(1団体)のデジタル推進委員が講師となり、前期11館で実施しているが、前期定員216名に対し、申し込み倍率は約2.8倍だった。

後期も4館で実施する予定。

(2) デジ活講座(「チャレンジ75」関連事業)

「学ぶ・使う・得をする」をテーマとしてゴールドシニア(75歳以上の市川市民)のスマートフォンの利活用をサポートする「チャレンジ75」のうち、「学ぶ」に当たる事業として実施する講座。

スマートフォンの基本操作や、地域デジタル通貨ICHICO使い方をはじめ、市川市の各種オンラインサービスについて学ぶ全3回の講座を、15公民館で実施する。

75歳以上の高齢者を中心に、65歳以上の方を対象とし、スマートフォンを所持していない方でも受講できる(受講用に端末を無償貸与)。通信事業者が講師となり、15公民館で実施しているが、前期定員180名に対し、申し込み倍率や約6倍だった。

後期も15公民館で実施する予定。

令和7年度 市川市公民館主催講座・連携事業等運営方針（案）

市川市教育委員会
生涯学習部 社会教育課

市川市は、市川市教育振興基本計画の実現に向け、市民等に多様な学習機会を提供すると共に、公民館の持つ機能の有効活用や、学校や地域との連携に取り組み、地域に根付いた公民館を目指します。

第4期市川市教育振興基本計画（令和6年度から令和10年度）

方針3 「ともに支え合う学びの環境整備」

目標9 「生涯にわたる学びの推進」

施策27 「生涯学び、活躍できる環境の整備」

施策30 「公民館の活用の推進」

1. 年間で取り組むテーマの設定

（1）全館共通のテーマ「学校・地域との連携」

学校や地域と連携した講座やイベントの実施により、公民館が身近な学習拠点となり、また活力ある地域のコミュニティ形成に寄与することを目指し、全館共通のテーマとするもの。

（2）公民館ごとのテーマ

地域の課題や学習ニーズ、公民館の立地・環境・施設の特徴等を踏まえ、各公民館が各年度において独自のテーマを設定するもの。

2. 主催講座の実施

全館共通のテーマ及び公民館ごとのテーマに沿い、教養の向上・健康づくり・家庭への支援・地域社会とのつながりづくりを意識した主催講座を実施し、市民等の学習の機会の提供に取り組む。

また、サークルや地域、学校と連携し地域の理解や愛着を深める「地域交流イベント」を開催し、世代間交流の促進を支援する。

(1) 主催講座の企画

- 市の施策や社会動向、地域課題を踏まえ、住民の学習ニーズを満たす内容に取り組む。
- 講師の選定や講座の周知では積極的に学校や地域の人材と連携し、主催講座の取り組みが盛んとなるよう努める。
- 各講座のテーマや内容は、学習内容別大分類（4ページ参照）から偏りがないように選択するとともに、公民館運営審議会の意見の反映に努める。

◎対面型講座

- 前期（4～9月）及び後期（10～3月）の年2回を開催時期として、年度内に計200講座程度を企画、実施する。
- 1講座当たりの回数は3回を目安とし、学習のねらいや内容、期待する効果に合わせ、適切に設定する。
- 土曜・日曜や夜間の講座など、多様な開催日時の設定に努める。

◎オンライン講座

- 市内や各地域の特色を活かした企画に努める。
- 文字情報の表示や被写体の拡大等、誰もが見やすい動画作成に努める。
- 動画配信は市公式 YouTube チャンネルを主たる方法とし、学習内容によっては WEB 会議方式も検討、実施する。

(2) 講座の学習成果を活かせる機会の提供・支援

- 積極的に受講者へ情報提供を行い、サークル活動への参加や学習成果の発表等、学習の継続を促す環境づくりに努める。

(3) 実施後の振り返り 評価と課題検証

- 各講座終了後に、受講者アンケートを実施する。
- 受講者アンケートをもとに講座を分析し、運営上の課題検証を行う。

○主催講座における学校・地域との連携の例

＜連携の内容＞

- 地域課題の掘り起こし
学校や地域住民の団体等から情報収集し、講座の企画に活かす
- 地域の人材の活用
学校教員や地域で活動する人材、公民館で活動するサークル等を指導者として活用
- 受講者の募集
自治会の掲示板や回覧版の活用。受講対象者や内容に応じて学校・地域の施設や団体に講座案内を配布
- 講座の企画運営
学校・地域と協働し、講座を企画・運営する
- イベントの開催
公民館周辺地域の特色や人材の活用、学校・地域団体との協働、学校や地域の施設の活用

＜連携の対象＞

- 連携先となる学校
幼稚園 小・中学校、高等学校、特別支援学校、大学、各種専修学校等
P T A、家庭教育学級、学校運営協議会等、各学校の関連団体
- 連携先となる地域
サークル及びサークル（利用団体）協議会、青少年育成団体、自治会、子ども会、高齢者クラブ、N P O団体、ボランティア団体、地元商店会、医療機関、福祉施設、保育園、こども館、放課後保育クラブ等

○学習課題による講座の分類

○大分類

市川市公民館主催講座区分	(参考) 令和5年度千葉県社会教育調査区分
1 教養の向上 (1) 趣味・稽古事 (2) その他	1 └うち、趣味・稽古事
2 体育・レクリエーション	2
3 家庭教育・家庭生活	3
4 職業知識	4
5 社会連帯意識	5
6 地域交流イベント	6 (その他)

○内容別分類

【1】教養の向上

(1) 趣味・稽古事

- ① 外国語や外国の文化・習慣を学ぶ講座
- ② 伝統文化や芸術の鑑賞等をとおして、人生や生活を豊かにする講座
- ③ その他、さまざまな知識の習得やテーマ研究をとおして教養の向上を図る講座
- ④ 華道・茶道・芸能・音楽・書道・美術・手工芸・囲碁・将棋等、制作や技法習得の講座

(2) その他

- ① 文学・歴史・自然科学・心理学等を学び、幅広い教養を身につける講座
- ② パソコンやスマートフォン、タブレット等の基礎的なITスキルを身につける講座

【2】体育・レクリエーション

- ① 運動・レクリエーション等を通じて、健康な心と身体づくりを促進する講座

【3】家庭教育・家庭生活

- ① 未就学児の親子や子育て期の親等を対象とする子育て・家庭教育を支援する講座
- ② 子どもの体験活動や実践活動、地域との交流を促進する講座
- ③ 生活習慣病の予防や食育等、健康的な家庭生活に役立つ講座
- ④ 介護や看護に関する技能や知識・制度等を学ぶ講座
- ⑤ 住環境や家事・生活設計等、暮らしの知恵を学び、良好な家庭生活を促進する講座

【4】職業知識

- ① 職業に関する知識習得や就労の支援に役立つ講座
- ② 学校卒業後における障がいのある方の学びや自立の支援となる講座
障がいのある方への理解を深め、支援や交流を行うきっかけとなる講座

【5】社会連帯意識

- ① 政治・経済・国際情勢等、社会の構成員としての自覚を育む身近な社会問題への理解
- ② ごみ問題や自然保護等、環境保全について学び考える機会となる講座
- ③ 男女共同参画への支援や、人権問題への理解につながる講座
- ④ 高齢者の生きがい、仲間づくり、地域活動への参加を促進する講座
- ⑤ 市内及び県内の歴史や文化・自然を学び、郷土の誇りや愛着の心を育む地域づくりにつながる講座
- ⑥ ボランティア活動への参加のきっかけとなる講座
- ⑦ 防災・防犯対策等、市民等の安全な生活に関する知識を深める講座

【6】地域交流イベント

- ① 公民館で活動するサークルや、公民館周辺の地域や学校との連携を図り、世代間交流の促進等の機会となるイベント
- ② 公民館周辺地域の住民の集いの場となるイベント

3. 地域の学習や交流への支援

主催講座の他に公民館と学校や地域が連携して行うものを、「学校・地域との連携」の関連事業として位置付ける。

取り扱った事例は他の公民館と情報交換を行い、効果的な手法を取り入れ、発展に努める。

○取り組みの例

1 住民参加の行事における公民館の利用及び連携

- 近隣の学校や地域活動団体等が主催する住民参加の行事に対し、公民館の会場（敷地内を含む）を提供する。また、対象となる住民への周知等、参加の促進に繋がる支援や協力を公民館が行うことに努める。
*主催者（構成員）のみで行う会議や行事準備に貸室だけをしているものは含まない

2 公民館のサークル等と学校や地域との関わり

- 主催講座から発展したサークルが、近隣の学校や地域での行事への参加や、ボランティア活動を行う。
- 公民館が紹介したサークル等が学校行事や地域行事に関わる。
*講師や会員が個人として関わるものは含まない
- 公民館で活動するサークルや利用者団体協議会等が、地域住民向けに交流イベントや発表会等を行う。（館内での実施を含む）
*専ら会員募集を目的として、個々のサークルが単独で行うものは含まない

3 公民館の事業や利用に関するPRの機会

- 学校や地域の行事等において、施設利用やサークル活動等を紹介する、公民館だよりを発行するなど、公民館について理解を図る機会を提供し、公民館事業や利用促進に役立つ効果が期待できるもの

4 その他

- 公民館の行事や施設環境整備等で、学校や地域の協力により行われたもの